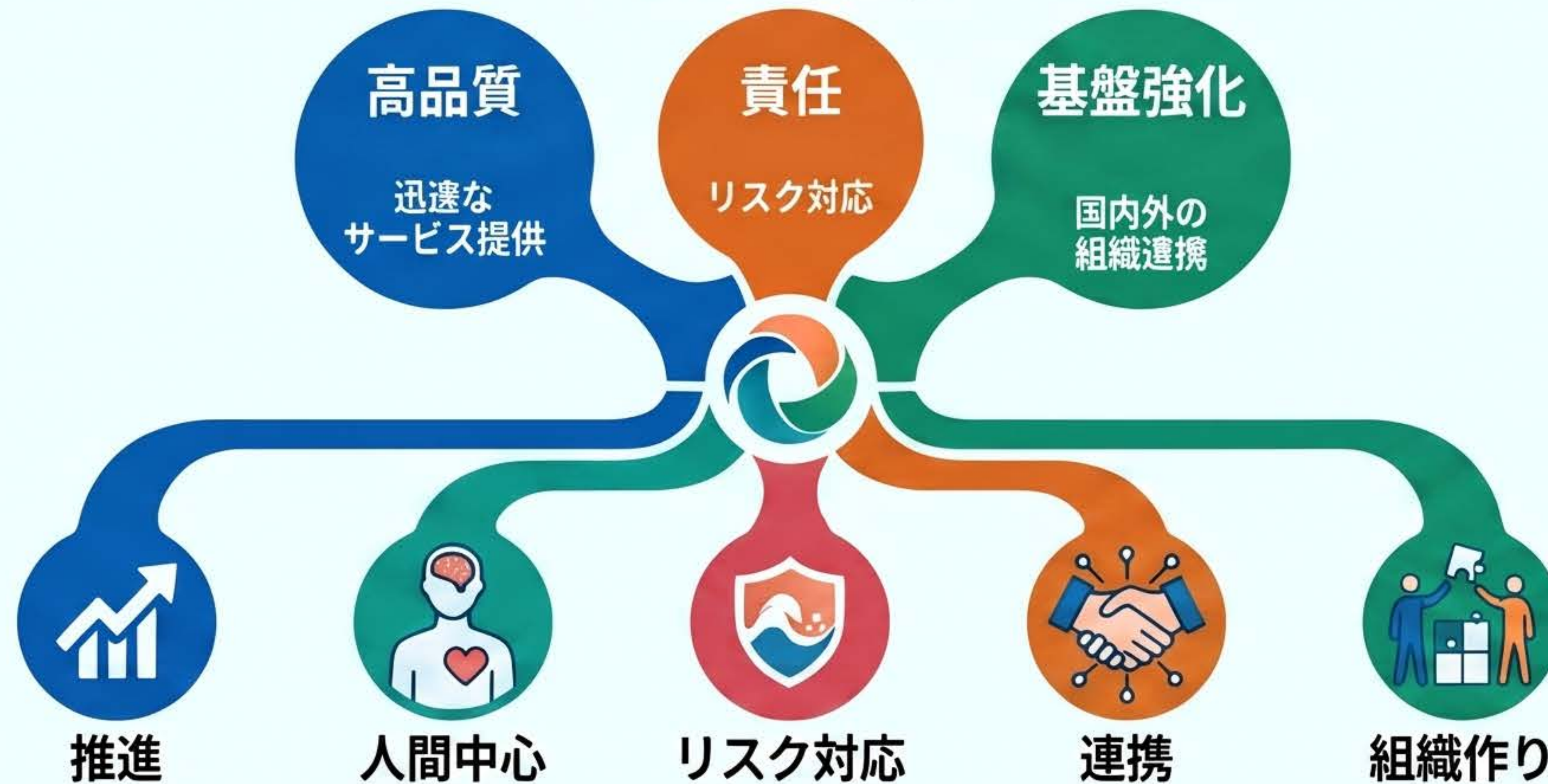


「JPO AI ビジョン」：特許庁が示すAI活用の未来図

2026年7月公表。人間中心の原則に基づき、生成AIの発展を好機と捉えた責任ある活用と、高度な機密保護の両立を目指す特許庁の基本理念。

ビジョンの核となる「目標」と「コンセプト」

3つの主要目標



「Human-in-the-loop」の徹底



AIの出力は必ず職員が検証・最終判断を行い、説明責任を維持します。

文書の位置付けと国際的な立ち位置

理念 (ビジョン) と実装 (アクション・プラン) の分担



IP5 (日米欧中韓) 主要庁のAI方針と実装状況

 JPO (日本)	 USPTO (米国)	 KIPO (韓国)
主な方針文書 JPO AI ビジョン	主な方針文書 AI 戦略 (2025)	主な方針文書 AI 審査支援システム計画
実装・取組の現状 理念先行。先行技術調査等は導入、生成AIは実証段階。	実装・取組の現状 実装先行。AI検索ツールや出願前先行技術調査の試行。	実装・取組の現状 企業連携による特許特化型大規模言語モデルの構築。